誰もが抱える悩みをパパッと解決！

福田貴一先生の福が来るアドバイス

その先の未来を見すえて――中学受験へ向けた学習で得られるもの

早稲田アカデミー
教育事業第二本部副本部長
福田　貴一

「中学入試の結果は得点という数値で出てきます。でも、私たちが試したい〝学力〟は〝どれだけの数値が出せるか〟ではありません。中学に進学した後に、さらに高度な内容を〝学ぶための力〟があるかどうか、なのです」――これはある私立中学校の校長先生から伺ったお話です。中学受験で得られるものは何か？　今回は、中学受験に向けた学習で得られるものについて考えます。

本気で取り組んだ経験

「中学受験へ向けた学習で得られるものは？」と尋ねられたとき、私がまず挙げるのは「経験」です。中学受験へ向けた学習では、それぞれの学齢にとってレベルの高い内容を継続的に学び続けることになります。それは、お子様にとって決して楽なものではありません。また、テストでは結果が得点や偏差値という数値で出てきますので、「がんばったのに結果につながらない」というジレンマを感じることもあるはずです。同じクラスの友達と比較して、挫折感を覚えることもあるでしょう。

しかし、そういった困難を乗り越えながら少しずつでも前に進み続けた経験、目標に向かって本気で取り組み続けた経験は、お子様を大きく成長させます。そしてその経験は、中学受験の先に続く人生でも、必ず活きるはずです。

「第一志望校」という大きな目標

難しい学習や地道な努力を続けていくためには、大きな目標が必要になります。目指すものがないと「やる気」になるのは難しいですし、その「やる気」を継続するのはさらに難しいはずです。目標は、簡単に手が届くものでなく、たゆまぬ努力を続けた先でやっと手に入るものである方がよいでしょう。

「第一志望校を早めに決めることが大切だ」といわれるのは、この点にあります。単に「入学したい・合格したい」というレベルの学校ではなく、「どうしてもあの学校がいい！」とお子様が「あこがれ」を抱けるような学校が見つかれば、やる気はより高まるのではないでしょうか。

「次のステージで学ぶ」ために

中学受験学習で得られるもう一つのもの――それは、「未来につながる力」です。そう聞くと、「困難に負けずやり抜く力」など、お子様が大人になった後で活きる力が思い浮かぶかもしれません。もちろんそういう面もあるのですが、中学受験で身に付く力は、それだけではありません。中学受験の後、すぐに活きる力もたくさんあるのです。

例えば、冒頭でご紹介した私立中学校の校長先生がおっしゃっていた〝学力〟――つまり、「次のステージで学ぶための力」です。進学塾では、中学受験で求められる「知識」「スキル」「思考法」に加えて「学習の仕方」についても学びます。進学する中学校では、「授業のスピードや密度」「家庭学習の質」など、小学校とは大きくレベルの異なる学習が待っています。その学習をしっかりと進めていくための力を身に付けるのも、中学受験へ向けた学習の大きな役割なのです。

「漢字の学習」は何のため？

「子どものセイチョウを見守る」「九九をアンショウする」……早稲田アカデミーの小学４年生で実施している漢字テストの問題です。新しく学んだ「成」や「唱」という漢字がしっかり定着しているかを確認するためのテストです。

「テストまでして小４の間に覚え切らなくても、小６までに身に付いていれば問題ないのでは？」とお考えになる方もいらっしゃるかもしれません。確かに、これらの漢字は、塾に通っていないお子様でも、小学６年生になるころには普通に書けるようになっているでしょう。また、進学塾では６年生になると〝大人でも書けないような難しい漢字〟ばかり勉強する、というわけでもありません。そう考えると、４年生の段階で１生懸命「漢字の学習」をする意味はないように感じられるかもしれません。

結論から言ってしまえば、４年生の段階で行う漢字学習は「覚える学習」「暗記」という学習の仕方を身に付けるためのトレーニング、という意味合いが強いのです。短時間で効率的に覚えるための「自分なりの方法」を確立するための学習、と言い換えてもいいでしょう。そう考えると、漢字の学習をご家庭でどのように進めていくべきかが見えてくるのではないでしょうか。そして、小学校低学年から中学年でこういったトレーニングがしっかりできていれば、高学年になってからの学習、さらには中学校に進んでからの語学学習にも大きくプラスに働くはずです。

そして、将来のために……

今は大きな「教育改革」の真っただ中です。この教育改革は、社会の進歩に伴ってのものであることはいうまでもありません。「主体性」「多様性」「協働性」「思考力・判断力・表現力」といった教育改革のキーワードは、日本の教育レベルを高めるためだけのものではありません。子どもたち自身にとって、これからの将来に必要となる力であり、社会に出てから活躍するための力であるということは皆様もご存知の通りです。

大学入試はこういったキーワードに沿って改革が進められているわけですが、もちろん中学入試においても、その方向性は変わりありません。むしろ「思考力・判断力・表現力」といった部分に関しては、大学入試よりも中学入試における出題の方が先行している点もあると個人的には考えています。これらの力は特に小学生のうちにしっかりと育てていくことで、大きく伸びていくものです。

中学受験へ向けた学習は、次のステージとなる中学校で学ぶ力となり、そして将来の社会を、世界を生きるための力となるのだと、私は考えています。

ブログ　福田 貴一の 四つ葉cafe　公開中！

中学受験をお考えの小学校３・４年生のお子様をお持ちの保護者様のためのブログです。
早稲田アカデミー 教育事業第二本部 副本部長　福田 貴一

中学受験に関するブログを公開しています。このブログでは、学習計画の立て方、やる気の引き出し方、テストの成績の見方、学校情報など、中学入試に関するさまざまなことについて書いています。

詳細はWebをご確認ください。
早稲田アカデミー　検索

左の二次元コードを読み込んでご確認下さい
スマートフォンのみ対応